

基調
講演

北・東アジア 都市史からみた 平泉

妹尾 達彦氏
(中央大学名誉教授)

全体日程

- 9:30 ~ 受付
- 10:00 ~ 10:10 開会行事
- 10:10 ~ 10:30 共同研究に関する報告
- 10:30 ~ 12:00 基調講演
- 休憩
- 13:00 ~ 14:20 共同研究に関する報告
- 休憩
- 14:30 ~ 15:15 調査成果の報告
- 15:30 閉会行事

共同研究に関する報告

- 10:10 ~ 10:30
「柳之御所遺跡の考古学的研究」
岩手県教育委員会・(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 13:00 ~ 13:20
「平泉の彼岸と此岸の造形に係る比較研究」
岡田 健 (奈良大学教授 (国立文化財機構東京文化財研究所名誉研究員))
- 13:20 ~ 13:40
「出土文字資料の集成的研究」
三上喜孝 (国立歴史民俗博物館 研究部教授)
- 13:40 ~ 14:00
「東・北アジアにおける政治拠点と平泉の比較研究」
岩手大学平泉文化研究センター・岩手県教育委員会
- 14:00 ~ 14:20
「日本の学校教育における世界遺産の教材化についての研究」
岩手大学教育学部・岩手県教育委員会

調査成果の報告

- 14:30 ~ 15:15
「骨寺村荘園遺跡」
一関市教育委員会
- 「長者ヶ原廃寺跡」
奥州市教育委員会
- 「白鳥館遺跡」
奥州市教育委員会
- 「観自在王院跡」
平泉町教育委員会

令和6年 2月4日(日) 10:00 ~ 15:30

会場 / 水沢グランドホテル (〒023-0818 岩手県奥州市水沢東町 40)

主催 / 岩手県、岩手県教育委員会、岩手大学、岩手大学平泉文化研究センター、世界遺産平泉保存活用推進実行委員会
共催 / 一関市教育委員会、奥州市教育委員会、平泉町教育委員会
後援 / (公財)岩手県文化振興事業団、(一社)岩手県文化財愛護協会、岩手考古学会、岩手史学会、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日日新聞社、胆江日日新聞社、一関コミュニティFM、一関ケーブルネットワーク



第4回 平泉学フォーラム

入場無料

対象：一般
当日受付

■ 問い合わせ先

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 (柳之御所担当) TEL 019-629-6488
世界遺産平泉保存活用推進実行委員会事務局 Mail : AK0002@pref.iwate.jp (文化振興課)



本事業は令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金 (地域文化財総合活用推進事業) の補助を受けて実施しています。



基調講演

「北・東アジア都市史からみた平泉」

妹尾 達彦 氏

【略 歴】

1952年生。中央大学名誉教授。立命館大学文学部卒業。大阪大学文学研究科修士課程修了。同大学博士課程単位取得退学。北海道教育大学（釧路校）助教授、筑波大学歴史・人類学系助教授、中央大学教授を経て現職。

研究分野：東アジア比較都市史、中国史。

主要著作：『長安の都市計画』2001年、『グローバル・ヒストリー』2018年、ほか。

論文に「世界史の中の平泉」『歴史評論』795、「東アジアの都市史と平泉」『アジア都市史における平泉』などがある。

- 9:30 ~ 受付
- 10:00 ~ 10:10 開会行事
- 10:10 ~ 10:30 研究報告①『柳之御所遺跡の考古学的研究』
岩手県教育委員会・（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 10:30 ~ 12:00 基調講演「北・東アジア都市史からみた平泉」妹尾達彦氏（中央大学名誉教授）
- 12:00 ~ 13:00 休憩

【共同研究に関する報告】

- 13:00 ~ 13:20 研究報告②『平泉の彼岸と此岸の造形に係る比較研究』
岡田健 奈良大学教授（国立文化財機構東京文化財研究所名誉研究員）
- 13:20 ~ 13:40 研究報告③『出土文字資料の集成的研究』
三上喜孝 国立歴史民俗博物館 研究部教授
- 13:40 ~ 14:00 研究報告④『東・北アジアにおける政治拠点と平泉の比較研究』
岩手大学平泉文化研究センター、岩手県教育委員会
- 14:00 ~ 14:20 研究報告⑤『日本の学校教育における世界遺産の教材化についての研究』
岩手大学教育学部、岩手県教育委員会
- 14:20 ~ 14:30 休憩

【調査成果の報告】

- 14:30 ~ 「骨寺村荘園遺跡」一関市教育委員会
「長者ヶ原廃寺跡」「白鳥館遺跡」奥州市教育委員会
「観自在王院跡」平泉町教育委員会
- 15:30 閉会行事